

年 組 名前 :

## 学校新築、改修予定の自治体

### 自動水栓 74% 希望

どの整備に補助金を出しているので自治体は有効に活用してほしい」としている。

感染防止はトイレの蛇口から。学校のトイレにある手洗い場の水栓（蛇口）について、校舎の新築や改修を予定している自治体の74%が、ハンドルを手でひねるなどしなくてもいい非接触型の「自動水栓」を導入したいと考えていることが、TOTOなどトイレ関連企業でつくる「学校のトイレ研究会」の調査で分かった。

調査は2019年11~12月に全国の1787自治体を対象に実施し、204自治体が回答。研究会は「新型コロナの感染拡大で、非接触型水栓の導入への意識はさらに高まっているのではないか。国も感染防止や予防のため、トイレな

学校のトイレにある蛇口の現状を複数回答で尋ねると、建築または改修から5年以上の学校において、手で蛇口をひねって水を出す「ハンドル水栓」が78%を占めたほか、「レバー水栓」が23%で、自動水栓は17%にとどまった。

一方で、建築または改修から5年末満の新しい学校では、自動水栓が60%に上り、ハンドル水栓は26%、レバー水栓は25%だった。

学校のトイレでの感染防止対策として、具体的に取り組んでいることも複数回答で質問。便器の洋式化が88%、手洗いの励行が60%だったのに対し、手洗いの自動水栓化は35%で施設の新築や改修に合わせて対応する姿勢が浮かんだ。

2020年9月6日付 山梨日日新聞 10面)

#### 問1

全国の学校トイレの手洗い場にある水栓（蛇口）の型を3つ書いてください。

①

②

③

#### 問2

多くの自治体が今後導入したいと考えているのは、どの型の水栓ですか。

#### 問3

その理由は何ですか。